

足摺半島 佐田山保護林

かつて、縄文時代より唐人跡場も含めて足摺半島は人々が豊かに暮らしていたところ。照葉樹林の木陰から当時の世界を想像するのもおもしろい。

また、戦国時代、長曾我部氏に遊れた一様公の財宝が隠されている可能性も指摘する人々の噂もある。

白皇山頂には石鎚神社の祠。祠の建つ岩は修験道の護摩壇の跡。祠の裏に回ると大きな岩があり、断崖の上から見事な眺望が開けている。

山頂はまさに「ワンポイントのひとった」。

人が積んだような巨石が群れている。

巨岩がいたるところに点在。巨石文明!! 白皇山ピラミッド説!!

大名竹(ダシヨウチク) 即ちの珍しいヤ。タケノコは美味。草むしり屋根をふくむ。最適だった。

かつての参道跡。

巨大アカシ

中

谷

巨大スタジ

谷

アカシ

古道の跡

谷をわたる。

タフツキ

保護林入口

足摺山へ

広く青く雄大な景色だ!!

水平線が目の高さで弧を描いている。

山頂の沖では瀬の流れも見ることが出来る。

石鎚神社 毎年7月に山頂でおまつりが開かれている。

修験の厂里 山伏が活躍

照葉樹林

鳥帽子岩(神石)

白皇権現そのもの。ご神体といわれる。

白皇寺跡(ヤシキドコ)

かつて金剛福寺の奥の院があった。明治の神仏分離令により廃寺。白皇神社となり白山神社に合祀され、山を下った。

ヤッコソウ自生地

ヤッコソウ。大名行列の奴に似ていることから牧野富太郎博士が命名。スタジヤツクラジの根に寄生して大群落をつくる。花は晩秋11月頃。白色。りんぺんが十字に對生している。花にたくさん蜜があってメジロなど小鳥が集まってくる。甘い♡

佐田山保護林

佐田山保護林は、シイ天然林。学術参考と遺伝子保存の保護林に指定されている。面積 10.98ha シイ30%、カシ25%、その他40%。

航行目標、干害防衛、保健の3種類の保安林でもある。

足摺市知海国立公園。

四万十森林管理局が管理。

照葉樹林の天然林

足摺半島のどまん中。昼なお暗い常緑の森。

ここは年々通じて常緑に光華く葉をもつシイ、カシ、タブ、ツバキ、フスナなどの照葉樹林。

つい最近まで西日本の大半はこのような常緑の森におおわれていた。

縄文の昔より人々は、この森のほとりや神々の世界を感じていたのかもしれない。

道案内

- 入口A ~ 白皇山頂 約40分
- 〃 ~ スタジ分岐A 〃 50分
- ※ 足摺スカイライン入口より約8km

ヤッコソウ 高知県で発見された。雄しべの帽子が落ちて雌しべがあらわれる。世界最大の花「ラフレシア」の仲間でもある。保護区内は立入厳禁。

シイの根に寄生しているのだから栽培は絶対に不可能。

足摺半島

